

## 20 放射線科研修プログラム

### I 一般目標 (GIO)

当院は地域医療や救急医療に力を入れているが、現代医療における画像診断の占める役割は非常に重要なものとなっている。放射線科では、CT、MRIなどの先進的医療機器を駆使し、各診療科の様々な疾患に対応している。画像診断を通じ、各種疾患の知識や診断技術を研修する。

### II 経験目標 (SBOs) (各項目の※は必修項目、)

1. 単純写真※、造影X線検査、CT※、MRI、核医学検査の原理や適応を理解する。
2. 各種検査の前処置や禁忌、造影剤の副作用や禁忌などを理解する。
3. 放射線被曝や防護についての知識を得る。

### III 方略 (LS)

毎日の読影業務の実践および討論。

血管造影、IVR検査の補助。

#### 週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土(第1)
AM	読影	カンファレンス 読影	読影	読影	読影	読影
PM	読影	読影	読影 IVR	読影 IVR	読影	読影

#### 指導体制

責任指導医：小林裕幸

上級医：大橋一郎

### IV 評価 (EV)

1. 研修医評価票の各項目につき、指導医が評価を行う。